

2023



September 長月

コラーレ倶楽部通信



コラーレ倶楽部通信新聞部
〒938-0031 富山県黒部市三日市 20 番地 コラーレ
TEL. 0765-57-1201 FAX. 0765-57-1207





ピアノサークル「ドレミの会」第 21 回コンサート

今年はどんなドレミ時間 !?

10 月 1 日(日)に、ドレミの会「ティータイム・コンサート」が開催されます。このコンサートも時を重ね、22 回目を迎えます。晴れの舞台に向けて、練習にいそしむメンバーの皆さんの元へおじゃましてきました。

.....

月に 2 回の練習日はリハーサル室が活動場所となります。換気のために開けられた隙間から漏れてくるのは、ピアノの音色と賑やかな会話。

この日は 7 名が参加されていました。今年新メンバー 2 名が加わり、総勢 14 名のサークルです。近隣市町村はもとより、富山市から通う方もいるとのこと。指導者不在の、気楽で自由な雰囲気の良いサークルは「ドレミの会」において他には無く、富山市辺りでも注目のサークルなんだそうです。「初心者でも上級者でもまったく壁が無く、ピアノを弾くことが大好きであればオッケー！ 年齢性別を越えた繋がりです。楽しんで続けてきた私たち。練習日も、都合の良い時間にきて自由に弾いて、おしゃべりして好きな時間に帰っていくんですよ。この明るい雰囲気をそのままに、ティータイム・コンサートでもお客様に楽しい時間を過ごしてもらえたらと思ってるんです。何度本番を経験しても、ステージに上がる前から心臓が飛び出しそう！ 年に 1 度のこの緊張感が若返りの源です」とおっしゃる代表の松本さん。メンバーの方々からもコンサートへ向けて談笑が始まりました。「他の人が頑張ってるのを見ると、自分への大きな励みになるの」「お客さんに聴いてもらう事も、ヤル気が上がるよね」「昨年と同じ曲を弾いても、その時の思いで違う弾き方になるから面白いね」「クラシックあり、ポピュラーあり、ジャズに演歌……いろんなジャンルがあるのも楽しいと思うの。『ラジオ体操第一』を弾いたこともあったね(笑)」取材日には、まだどなたも演奏曲が決まってないとのことでしたが、お話を伺うだけでも素敵なコンサートになることが想像できます！ 感染対策を適切にとりつつ、以前のようにお菓子付きのティータイムを提供できたらいいな、ともありました。ゆったりと楽しいひと時、皆様のお越しをお待ちしております。

(TEXT = P)



誰かの演奏を BGM にして、一服しながら談笑タイム。「次はあなた何か弾いて～」「私、今日何曲も弾いたよ」と、気楽な雰囲気ととってもいい感じ。貴方も参加してみませんか？



「アランプラ宮殿の思い出」演奏中のお姿をパチリ。メンバー同士、切磋琢磨しながらコンサートに向け何を披露しようか思案中……。今や本番目前！ どんな演目が並ぶか乞うご期待！

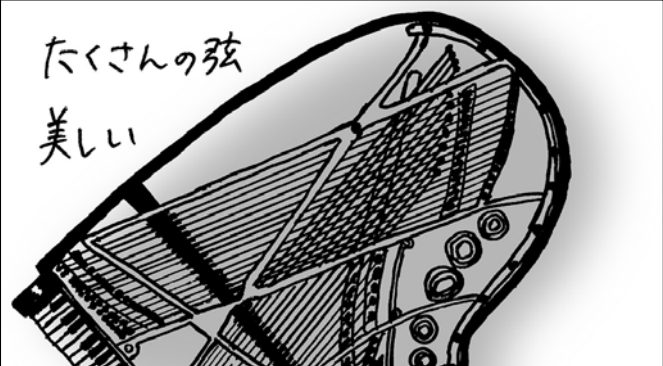
♪ドレミのティータイム・コンサート

ドレミが贈る「22 回目」のコンサート！

大人のピアノサークル「ドレミの会」の年に 1 度の楽しいピアノコンサートです。お気軽に聴きにきてください。

2023 年 10 月 1 日(日) 開演 13:30
コラーレ (マルチホール) / 入場無料

主催：ドレミの会



今月のひとりごと

暑さに負けず

つい出てくる言葉がとにかく「暑い、暑い」が常套句となったこの夏の日本列島。9 月に入っても厳しい残暑との戦いが続く。とある夏の日の統計を見た。1 位：埼玉県鳩山町 39.6℃。10 位：山梨県大月市 38.6℃。気温差 1℃の中に 10 県がひしめく。富山県高岡市が 37.1℃、今夏一番の暑さであった。半世紀以上も前、私が小学生だった頃、富山県の気温が 38.6℃で全国一の暑さとなったことがある。1970 年代 10 年間の東京での統計であるけれど、最高気温 35℃以上の猛暑日を記録した日が平均 1.3 日とあった。つまり半世紀前は、猛暑日を記録する日は多くて 2 日間ということになる。

昨今はどうであろう。連日 35℃以上記録する都市が全国いたるところでしのぎを削る。毎年埼玉県熊谷市や岐阜県美濃市などは全国一暑い都市を競っているがコンマ 1℃の違いで大差はない。気温そのものが体温をはるかに超え湯船の温度に近いのである。

黒部に住んでいる私の会社は市の水道であるけれど、蛇口をひねると常時ぬるま湯が出てくる。これはこれで温水器がいらないなあと思うと皮肉なことになりがたさを感じるのだが、一つの生命体と考えた地球にとってはとても危惧すべきことである。「脱炭素社会」「カーボンニュートラル」としきりに耳にするようになった。二酸化炭素排出量実質ゼロに。再生可能エネルギーの活用。そういえば入善沖にも大きな風力発電機が現れた。個人で一体何ができるのか？ 私がいま取り組んでいることは、家族がひとつの部屋で過ごすこと。無理しない範囲で節電に努めている。

<実質 0 解凍>

アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コラーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしているいろんな人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄って無形の情熱を有形に変えていくグループです。何を作り上げるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

コラーレ倶楽部アクティブグループ 9 月の活動予定

大人のピアノサークル ドレミの会

ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。
▼9 月 9 日(出)・30 日(出) 各日 13:00 ～ 17:00
9 月 22 日(金) 9:00 ～ 13:00

弦楽サークル 楽屋ストリングス

ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。
▼9 月毎週(月) 各日 19:30 ～ 22:00

アコギを楽しむ会

アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。
▼ミーティング：9 月 10 日(日) 19:00 ～ 22:00
9 月 24 日(日) 19:00 ～ 22:00

消しゴムはんこづくり ペったん

1 回だけの参加も大歓迎。初心者も OK、材料費必要。
▼9 月 28 日(木) 19:30 ～ 21:00

コラーレ倶楽部通信新聞部

この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集中。
▼ミーティング：9 月 14 日(木) 19:30 ～ 21:00

お問い合わせ：コラーレ (tel. 0765-57-1201)

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

広島交響楽団 黒部公演

2023 年 6 月 16 日／コラーレ

指揮者がタクトを振り、ステージいっぱいのオーケストラが大迫力の演奏をする。プログラムはチャイコフスキーの傑作ばかり。これがコラーレで聴けるチャンスが来たなんて、なんて幸運なのでしょう。いざ、コラーレのカーターホールへ。

最初の曲は、歌劇「エウゲニー・オネーギン」より「ポロネーズ」。ステージには 80 人ほどの広島交響楽団の方々が並び、指揮は徳永二男さん。指揮に合わせ荘厳かつ軽快に奏でられるポロネーズは、これがオーケストラの演奏だと思い出させてくれました。

2 曲目は馴染み深い曲でもある「ヴァイオリン協奏曲ニ長調 作品 35」。ソリストに外村理紗さんを迎え、全 3 楽章が演奏されました。外村さんのヴァイオリンの艶やかな音色に聴き入り、カデンツァの部分ではテクニカルな演奏に魅了されました。これぞチャイコフスキーと思わせる圧巻の曲でした。外村さんのアンコールとして、バッハの「無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第 3 番」も披露され、ストラディヴァリウスの素敵な音色に聴き入りました。

3 曲目は、交響曲第 6 番ロ短調 作品 74「悲愴」が演奏されました。全 4 楽章で構成され、重厚で壮大な演奏が繰り広げられました。特に第 4 楽章がドラマティックで、涙が出そうなほど感動しました。広島交響楽団の方々がコラーレに来てくれたことに感謝せずにいられませんでした。

アンコールには、誰もが一度は耳にしたことがある、どこか懐かしいチャイコフスキーの「弦楽四重奏曲 作品 11」より「アンダンテ・カンタービレ」が演奏されました。広島交響楽団の素晴らしい演奏に拍手が鳴り止みませんでした。

<ヒスイの森／ 50 代女性>

柳亭小痴楽・春風亭昇々・桂宮治 三人会

2023 年 6 月 22 日／コラーレ

落語の三人会なるものを聴いてきました。

以前、講談と落語の「旅成金」聴きました。その際、柳亭小痴楽さんが真打昇進祝いと重なり、残念ながら来られませんでしたので、今回はそのリベンジです。

舞台が始まる前にはお囃子になっており、雰囲気も漂っております。

トップの三遊亭美よしさんは、高岡出身の方でみられテレビでも番組を持っているとのこと。落語家の前は、ヨガのインストラクターという異色の経歴をお持ちです。落語を聞く経験の浅い私にも聴きやすい内容でした。

続いての桂宮治さんはテレビでもお馴染み。日帰りで帰りの新幹線の時間のこともあってか、とても早口で慣れるまで少々時間がかかりました。笑えない話もありドキドキしながら聴きました。

休憩をはさみ、春風亭昇々さん。最近はやりのイケメン落語家さん。自身の経験を織り交ぜた、新作落語で面白い内容でした。

トリは、柳亭小痴楽さん。最近ラジオで声や話し方を聴いていたので、ノリの良い若者という認識でおりました。落語では、枕と言って、題目に入る前に時事ネタや自身のことを話したりします。そこで小痴楽さんは、素敵なパパとわかりました。小痴楽さんの「オチ」が一番ずっと落ちたような気がしました。後から調べたら、「オチ」方にも何種類かあるんですって。

今回は、他館のチラシに落語の用語が載っており、役立ちました。出囃子は、噺家さんによって違うこと。落語は、「枕」「題目」「オチ」の三本柱でできていることなど。最近、ラジオでも落語に耳を傾けることが前より増えました。コラーレでまた一つ世界が広がったように思います。次は、どんな公演があるか、楽しみです。

<はるるん／ 50 代女性>



ある日の「ぺったん」

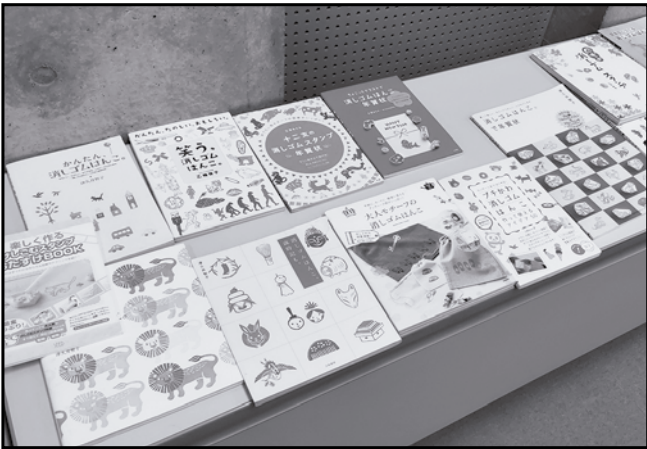
消しゴムはんこサークル「ぺったん」が
とある日の活動をご報告します♪



活動場所に着くと、ぺったん創始者作のウェルカムボードがお出迎え。長年ぺったんを見守ってくれている看板娘(?)です。柔らかな色合いとデザインで、メンバーのお気に入りです。



メンバーは自分が作りたいはんこをそれぞれ自由に使っています。おしゃべりに夢中になってしまうこともあります。同じ趣味の仲間と楽しく作業できる幸せな時間です。



初めての人や何を作るか決まっていな人、下絵を描くのが苦手な人でも大丈夫なように、お手本がたくさん用意してあります。あえて難易度が高い図案に挑戦するのも面白いかも!?



新聞部からのおてがみ

この夏は連日の暑さ。熱中症警戒アラートが出されるなどかなり疲れがたまっています。そんな中でも元気に活動されていたのが「ドレミの会」の皆さん。8 月末に 24 時間ライブに出演されたのも束の間、ひと月余りの 10 月 1 日恒例のティータイムコンサートを開催されます。今月の特集はそんな皆さんの様子をお届けしました。

「♪もしもピアノが弾けたなら 小さな灯りをひとつつけ きみに聴かせることだろう～」やはりピアノが弾けたならだれかに聴いてもらいと思いますよね。午後のひとときバラエティーに富んだ演奏を聴きにいらしてください。

<か>

編集後記

- 残暑お見舞い申し上げます。カンカン照りだからこそできる事はしましたか？ 今年私は海に入りましたよ～。この暑さ、もう少しの辛抱です。秋の清々しい気候を楽しみに、あれもしたい、これもしたいと日々妄想中！ <月がふたつ>
- 「不安になると何かにすがりたくなってお祈りしたくなりますが、神様、仏様、キリスト様、ご先祖様、誰にお祈りしたらいいですか?」「誰に祈ったっていいんだよ」「え?」「あんたが安心するんなら誰でもいいの」と漫画の中の会話。納得です。<み>
- 食品廃棄物を原材料に、それを乾燥、粉碎し熱圧縮して新素材を作る新会社が設立された。白菜からできた素材はコンクリートの約 4 倍の曲げ強度なり。素材により色や香りも楽しめるそう。若き経営者の発想は未来を照らしてるな～！ <パペポ>
- 余った食材で作っていたカレーが「母の味」だと言われ、ひやりとしたと新聞の投稿にあった。この夏の暑さで作る意欲も食欲も落ちがちの中、カレーはいいかも。残り野菜でも、市販のルーを 2 種類混ぜて作ってもそれなりの出来になる。<手抜きに乾杯>
- 9 月に入って下界はまだ暑い日が続くのだが、好きな山に登るともうそこは秋である。無数の赤トンボが飛び交い、初冠雪を見る日も近い。あんなに暑かった里にもやがて秋が訪れる。もう少しの我慢。 <夕焼けこやけの赤トンボ>
- 親が転んで頭を打ったので、すぐに市民病院の救急外来へ。血だらけになった割には、骨に異常はなかったのは不幸中の幸い。歳を取ると足腰が弱くなり、ちょっとしたことで怪我をする。私も気をつけないと。 <どら>



投稿記事募集中

【こんなン観てきました】

コンサート、演劇、映画、美術展等の鑑賞レポート。会場はコラーレ以外でも OK。1,000 字程度で、公演タイトルと鑑賞日も忘れずに。

【気ままになんでも写真館】

あなたが撮った写真を送ってください。「畑でできた大きな大根を見て」「我が家のペットです」等、何でも OK！ コメントは 120 字程度で。

【わたしの旅行記】

国内、海外問わず、旅行体験を 1,000 字程度で書いてください。